61 01 10 05 05 001

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和03年01月25日（月）

事務事業	埋蔵文化財調査事業	担当課	文化振興課	担当係	文化財保護係	管理番号	6168
第２次総合計画 行政分野別 大項目	200002 次代を担う人と文化を育むまちづくり（教育・文化）	事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
中項目	200002 誰もが生きがいを持ち、学ぶことのできるまちづくり	根拠法令個別計画等	文化財保護法				
小項目	200002 郷土の歴史・文化の継承と活用						

事業概要	本事業は、市内に約７４０か所所在する埋蔵文化財包蔵地において開発行為が行われる場合に試掘・確認調査を行い、その内容を把握して、現状保存できない場合には、発掘調査をすることで記録保存を行う。また、重要遺跡については確認調査を行う。
目的 ※何のために	開発に係る埋蔵文化財を適切に保護し、状況を確認するために、調査を行う。
対象 ※誰・何を対象に	埋蔵文化財、重要遺跡
手段 ※どのように	遺跡地内における開発に対する指導と、必要な場合は確認調査・本調査の実施、重要遺跡範囲内容確認のための調査の実施。
成果 ※何を求めるか	埋蔵文化財やその他文化財の適切な保護を目指す。
執行体制	□ 市職員　■ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ 民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	10	教育費	05	社会教育費	05	文化財費	市内文化財調査事業	19,321,351
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

・ 埋蔵文化財発掘調査業務	・
・ 埋蔵文化財確認調査業務	・
・ 埋蔵文化財照会・回答事務	・
・	・
・	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画							
事業費	予算（現額）	49,976,000	29,884,000	20,788,000	20,850,000	20,989,000	
	決算額	49,971,944	25,076,183	19,321,351	0	0	
財源内訳	国支出金	4,215,000	3,700,000	3,850,000	4,500,000	4,500,000	
	県支出金	2,107,000	1,850,000	1,925,000	2,250,000	2,250,000	
	地方債	0	0	0	0	0	
	他特定財源	35,960,457	8,006,614	6,844,477	7,812,000	8,312,000	
	一般財源	7,689,487	11,519,569	6,701,874	6,288,000	5,927,000	
人件費	従事職員数（人）	2.45	2.25	1.90	1.65	1.65	
	人件費相当試算 ※１	19,058,550	17,509,500	14,935,900	13,444,200	13,444,200	
		0	0	0	0	0	
（総事業費試算）		69,030,494	42,585,683	34,257,251	34,294,200	34,433,200	

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
■	活動指標１	遺跡地内における開発協議件数	目標値	件							■
			実績値		234.00	193.00	220.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		開発協議の件数は事前に把握できないため目標値を設定しない							
		実績値の出所・算出式									
■	成果指標１	発掘調査報告書の刊行数	目標値	件	3.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	□
			実績値		4.00	4.00	3.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		前年の発掘調査件数の５割の報告書の刊行を目標値とする。							
		実績値の出所・算出式									
□	成果指標２	確認調査の実施数	目標値	件							■
			実績値		69.00	62.00	61.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		開発協議の件数は事前に把握できないため目標値を設定しない							
		実績値の出所・算出式									
□	成果指標３	発掘調査の実施数	目標値	件							■
			実績値		11.00	9.00	3.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		開発協議の件数は事前に把握できないため目標値を設定しない							
		実績値の出所・算出式									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
		実績値の出所・算出式									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
		実績値の出所・算出式									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	-	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 開発協議に関し、関係各課とも連携を取り適切に対応することができた。
成果 （意図した成果が上がっているか）	B	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 確認調査を適切に行い記録として残すべき埋蔵文化財の調査を適切に実施、また調査結果を整理し報告書の刊行を行うことで地域の歴史を構成する資料を新に蓄積することができた。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	文化財保護係長　鈴木紳也

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	開発協議を経て発掘調査から報告書刊行までを円滑に行う環境を維持していくことが必要である。
達成状況 及び その効果	円滑な発掘調査業務の運営、調査報告書の刊行を行うことができた。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	埋蔵文化財調査事業	担当課	文化振興課	担当係	文化財保護係	管理番号	6168

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 → □ 委託化等の検討 / □ 成果向上のための改善 / □ 効率化のための改善 / □ 事業規模の縮小 / □ 他の事務事業と統合
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

評価の内容説明

開発行為に伴う確認調査、試掘、発掘調査等について、発掘作業員、発掘整理作業員への適切な指示、また業務委託を効率よく活用し、埋蔵文化財の保護を適切に行うことができたため、今後も現状のまま継続し保護を図ることとする。

評価者	文化振興課長　成瀬哲也

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

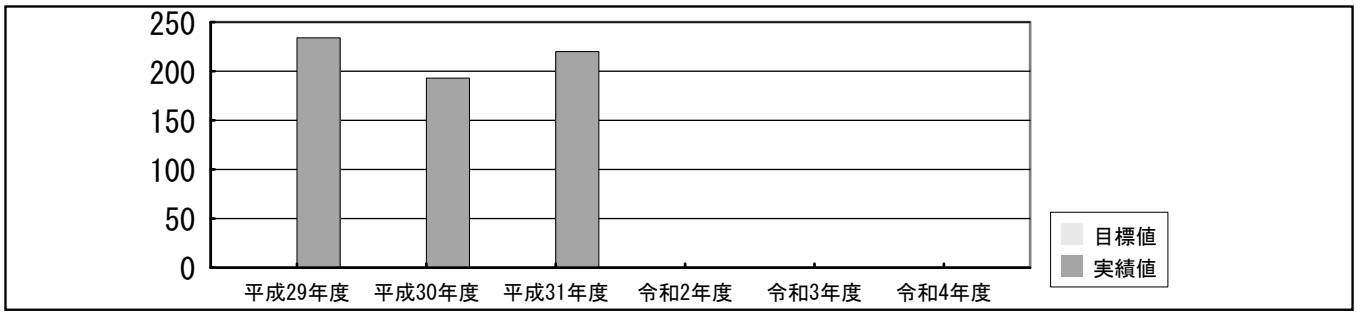
改善・改革案	開発協議を経て発掘調査から報告書刊行までを円滑に行う環境を維持し、報告書刊行については計画を立て順次刊行していくことが必要である。

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

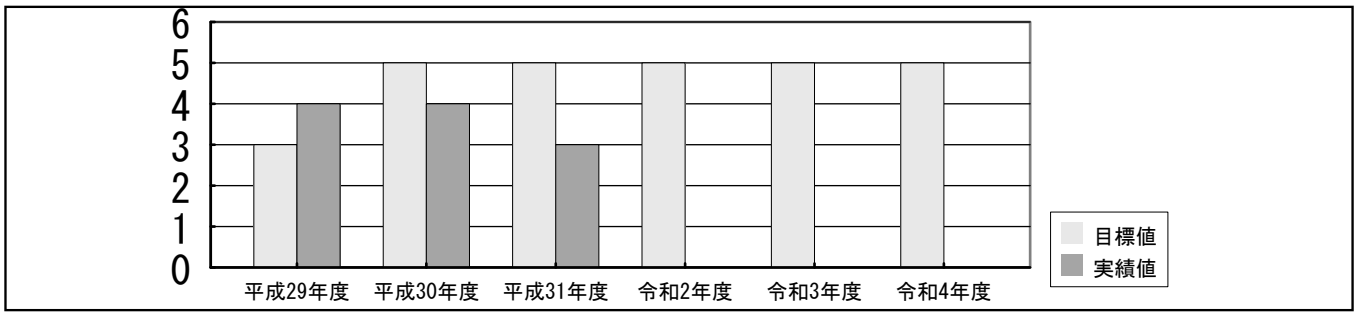
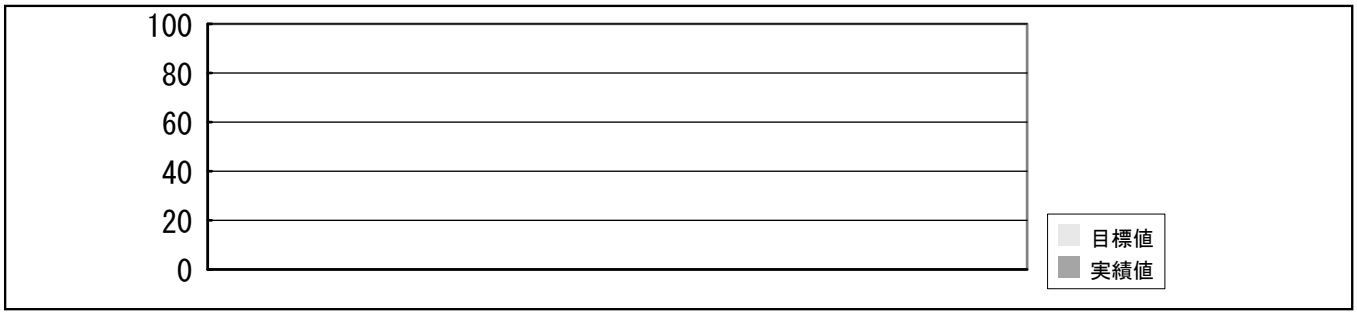
今後の課題	

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	遺跡地内における開発協議件数



区分	成果指標１	指標名	発掘調査報告書の刊行数



区分		指標名